

## 笑顔でつながる森づくり

9月4日、総合公園弓道場南側周辺で、行田市森づくり環境再生実行委員会による「いのちを守る森づくり」第4回親子植樹祭が行われました。

この植樹活動は、森づくりを通して豊かな自然をはぐくみ、緑と触れ合うことで未来の行田を担う子供たちを育成するために行うもの。約350人の参加者は、横浜国立大学名誉教授の宮脇昭さんの指導を受け、シラカシやアラカシなど約1,500本の広葉樹を植えました。

また、今回は国際連合が定めた国際森林年を記念して、全国12カ所の植樹祭をつなぐいのちの森づくりリレー植樹も併せて行われました。仙台市から引き継がれた「植樹ごて」に、参加した子供たちは自分の名前を書き込み、そのこてを次の植樹地である福島県川内村へとバトンタッチしました。親子で植えた小さな苗木は、笑顔とともに未来の森へとつながることでしょう。



## はつらつと 日ごろの訓練の成果を披露

9月4日、消防本部訓練場で第39回行田市消防団消防操法大会が開催されました。

消防操法とは、消火活動の基本であり、「安心・確実・迅速」な動作と機械器具操作を習得するために行われている訓練です。この大会に参加した20の消防団は、台風12号の影響による激しい雨や風にも臆することなく、はつらつと日ごろの訓練の成果を遺憾なく発揮していました。

## 親子で防災意識を高めよう

8月28日、南河原小学校で南河原地区青少年育成会防災訓練が行われました。

この訓練は、親子で防災意識を高めようと同育会が初めて開催したもので、AEDの操作説明や応急手当ての方法、水消火器での消火訓練、非常食のアルファ米を使ったカレーライス作りなどが行われました。

参加した親子は、講師の話に耳を傾け、真剣なまなざしで訓練を行うなど、いつ起こるか分からない災害に備えて、防災意識を高めていました。

